

松山市自転車交通安全・交通流分析実証実験

■ 実証実験の主な共同実施者

松山市、豊田通商株式会社（代表企業）、京セラ株式会社、日本信号株式会社、
積水樹脂株式会社、トヨタ自動車株式会社、パナソニック サイクルテック株式会社、
株式会社パナソニックシステムネットワークス開発研究所、株式会社 JVC ケンウッド

■ 実証エリア

松山市末広町 16-11、永代町 1-2、永代町 6-4、永代町 4-2、真砂町 123-3、
藤原 1-4-27、春日町 83

■ 取得するデータ

対象交差点に設置したカメラより、交通・走行環境画像データ（動画形式）取得します。

■ 取得する期間

2026 年 9 月～2027 年 3 月

■ 利用目的

交通参加者(車両/自転車/歩行者)の詳細な挙動を計測/分析することにより、交通事故やヒヤリハットがどのような要因で発生しているかの確認・分析のため

■ データの第三者提供

当財団は、原則として、本実証実験において取得する上記データを第三者提供いたしません。
（警察・裁判所・政府機関などからの強制力を伴う法的な要請に基づく場合に、第三者に提供することがあります）。

■ データを保管する期間

2026 年 9 月～2028 年 3 月

※取得した交通・走行環境画像データのうち、今後の開発に必要となる一部のデータに限って、上記の保管期間を超えて保管・利用することがありますが、不要になった場合すみやかに削除いたします。

■ 個人情報保護・プライバシー尊重への取り組み

この実証実験で当財団が取得した走行環境画像データには、歩道や道路脇を歩く人や、前方や隣接する車線を走行する車両のナンバーなどが映り込む可能性があります。当財団はこの画像データを、個人情報として、個人情報保護法その他の関連する法律を順守して取り扱います。
また、映り込んだ方のプライバシーを尊重するための取り組みを行っています。

- ・ 交通・走行環境画像データの取り扱いに関する情報の適時適切な公表（本お知らせ）
- ・ 交通・走行環境画像データに対するアクセス制限やアクセスログの管理
- ・ 交通・走行環境画像データに映り込む人や車両のナンバーを個別に検索できない形式での保管
- ・ 交通・走行環境画像データに映り込んだ人や車両について個別に追跡したり、その行動特性や移動傾向などを分析したりすることの禁止

当財団の取り組みについて、映り込む可能性のある皆様にご理解いただけるよう、これからも十分な説明や対応に努めてまいります。

（初版：2026 年 8 月 17 日）